

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	1 単位 保育の本質・目的	相談援助		2 年次	秋

授業のキーワード	ケースワーク、グループワーク、コミュニティーワーク
授業の概要	本講では、相談援助の基礎となる社会福祉援助技術を中心に理解を深めていきます。
期待される学習成果（目標）	1.保護者に対して必要な相談援助を理解します。 2.社会福祉援助技術を理解し、対象者に応じた適切な相談や助言ができるようになることを目指します。

## 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	相談援助とは何か(イントロダクション)	本講義全体の趣旨説明及びスケジュールの確認を行います。	第9講	相談援助の具体的展開 I	相談援助の計画・方法・記録の作成と評価のあり方について理解を深めます。
第2講	相談援助の概要 I	保育士による相談援助の理論、意義、機能について学びます。	第10講	相談援助の具体的展開 II	社会資源の活用、調整、開発などが必要とされる背景、理由などについて学びます。
第3講	相談援助の概要 II	保育・子育て支援における相談援助やソーシャルワークの原理・原則を理解します。	第11講	相談援助の具体的展開 III	児童の福祉に関係する機関・施設に働く専門職について理解と連携方法を学びます。
第4講	相談援助の概要 III	保育ソーシャルワークの内容と技術を学び、事例をとおして具体的に考えます。	第12講	事例検討 I	保育士として知っておかなければならない、児童虐待についての基礎知識を身に付けます。
第5講	相談援助の方法と技術 I	相談援助の対象を学ぶとともに、人と環境の相互作用とその不調和について理解します。	第13講	事例検討 II	障がいのある子どもとその保護者への支援事例から、地域における支援環境や障がい観について考えます。
第6講	相談援助の方法と技術 II	相談援助の過程やそれぞれの段階において配慮すべき事柄について学びます。	第14講	事例検討 III	事例や保育を分析することの意義と方法を理解し、さまざまな状況や要因の把握とその対応方法を考えます。
第7講	相談援助の方法と技術 III	個別援助技術と集団援助技術の理論について、事例を交えながら学びます。	第15講	全体のまとめと振り返り	保育におけるソーシャルワークの応用について理解を深める。また、これまでの授業を振り返りを行います。
第8講	相談援助の方法と技術 IV	社会福祉制度や社会資源を使いながら間接的に支援する地域援助技術の理論と方法を学びます。	定期試験		全体的な基礎知識を問うレポートの提出を求めます。
評価方法		学期末のレポート 50%、授業貢献度（授業態度、事例検討への参加、小レポート等）50%により、総合的な評価を行います。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
テキストは特に指定せず、必要な資料は授業時に毎回配布します。			大嶋恭二・金子恵美編著『相談援助』建邦社 2011年 その他の参考文献については、随時、授業中に紹介します。		